

通 信

沖縄生物学会 第63回大会のお知らせ

沖縄生物学会第63回大会を、下記の要領で開催いたします。会場は沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学です。

一般講演（口頭発表・ポスター発表）、池原記念賞受賞講演、公開シンポジウム、懇親会を予定しています。小・中・高校生による大会参加ならびにポスター発表については参加費を免除いたしますので、ふるってご参加ください（ただし、口頭発表は学生料金で、本人もしくは共同発表者が学会員であること）。なお、小・中・高校生の引率者についても参加費は免除とします。

その他詳細につきましては、学会ホームページおよび次号「通信」でお知らせ致します。

会 場：沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学

（https://www.ocjc.ac.jp/gakuin/kotu_map/）

日 程：2026年5月30日（土）

大会参加費：一般 1,500円、学生 1,000円、小・中・高校生 免除



◆ 発表申込

沖縄生物学会大会で発表を希望される方は、口頭発表またはポスター発表の別を明記のうえ、講演要旨を以下の要領で作成し、**2026年4月12日(日) 17:00 (必着)**までに、準備委員会宛 (okibio63th@gmail.com) へメールでお申し込みください。メール件名は、「**発表申込**」としてください。

※ 1通のメールで複数の発表を申し込まないでください。

※ 同一研究室からの口頭発表は原則1題とし、その他はポスター発表としてください。

※ 申込件数によっては発表形式の変更をお願いする場合があります。

申込受付後、大会準備委員会より受領確認メールを送信しますので、必ずご確認ください。大会での発表は、小・中・高校生によるポスター発表を除き、発表者または共同発表者のうち少なくとも1名が本学会会員であることを条件とします。会員の皆様の日頃の研究成果を発表する場として、積極的なご参加をお願いいたします。

◆ 口頭発表について

- ・PowerPoint (pptx または ppt) によるデジタルプロジェクター発表
- ・接続：HDMI または VGA
- ・大会準備委員会にて Windows 11 または Mac OS X のノートパソコンを準備しますが、ソフト等の不適合が生じる可能性があります。可能な限りご自身のパソコンをご持参ください。
- ・その他の設備が必要な場合は、事前にお問い合わせください。
- ・講演時間：15分（講演12分、質疑3分）

◆ ポスター発表について

- ・パネルサイズ：縦 119.4 cm × 横 84.1 cm (A0サイズ貼り付け可能)

◆ 講演要旨の作成要領と提出方法

講演要旨原稿は以下の要領で作成し、**PDF 形式に変換して提出して下さい。**

- ・ファイル名：「**発表申込 (発表者氏名)**」
- ・フォント：MS 明朝 11 ポイント (英文の場合：Times New Roman)
- ・句読点等の書式：沖縄生物学会誌投稿規定 (<http://www.okibio.jp/publish/02.html>) を参照
- ・文字数：演題・発表者・本文を含め 800 文字以内
- ・図表：要旨内には含めないこと

講演要旨提出の締め切り：2026 年 4 月 12 日(日)17:00

要旨作成例を下記に示しますので、必ずご確認ください。なお、本大会の講演要旨は沖縄生物学会誌には掲載されません。あらかじめご了承ください。

◆ 要旨作成例

タイトル (太字)、発表者、所属は MS ゴシック 11 pt

潮下帯砂泥底に生息する穴居性甲殻類

所属は短縮

○成瀬貫 (琉球大・熱生研・西表)・吉田隆太 (お茶ノ水大・湾岸生物教育セ)

潮下帯の砂泥からなる海底には、無数の穴が散在していることがよくある。これらの穴は様々な生物の活動により形成されている場合がほとんどと考えられる。しかしそれらの穴の

発表者に○

本文は MS 明朝 11 pt、段落は複数可。句読点は、. を使用。

◆ 懇親会申込

発表の有無に関わらず、懇親会に参加される方は、2026 年 4 月 12 日(日)までに、準備委員会宛 (okibio63th@gmail.com) へメールでお申し込みください。メール件名は、「**懇親会申込**」としてください。

会 場：沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学内 大城実記念ユニオン

懇親会への参加申込は大会当日も受け付けますが(事前申し込みを含めて先着 30 名様程度)、その場合は当日料金となります。また、当日の申込は人数によってはお受けできない場合がありますので、できる限り事前申込をお願いいたします。

懇親会費 (予定)：事前申込 3,000 円 (当日申込 3,500 円)
学生 2,000 円 (事前・当日共通)

◆ シンポジウム

公開シンポジウムのテーマに関してご提案を受け付けます。2026 年 1 月 13 日までに電子メールで大会実行委員会 (okibio63th@gmail.com) までご連絡ください。過去のシンポジウムについては学会ホームページを参照してください。シンポジウムのテーマは学会事務局と大会実行委員会により決定し、ホームページおよび次号の「通信」でお知らせいたします。

◆ その他の問い合わせ

その他に関する第 63 回大会の問い合わせは、準備委員会宛 (okibio63th@gmail.com) へメールで件名を「**問い合わせ**」として送信して下さい。

沖縄生物学会第 63 回大会準備委員会

沖縄キリスト教短期大学 照屋 建太 E-mail: okibio63th@gmail.com

国立自然史博物館誘致の現状報告

国立沖縄自然史博物館誘致活動は沖縄県主体で行われています。2025 年度は国立自然史博物館誘致県民会議が結成されました。これは長年にわたって行われてきた地道な活動のマイルストーンとなるべきもので、今後の誘致活動が加速していくことが期待されます。沖縄県民に向けた今年度の国立自然史博物館誘致活動は例年通り行われ、様々な機会を通じて誘致活動を周知しております。2032 年度の「国立沖縄自然史博物館」開館めざし、会員の皆様におかれましては是非参加していただけますようお願いいたします。

令和 7 年度国立自然史博物館誘致 八重山シンポジウム

- ① 会場：石垣市役所コミュニティールーム
- ② 日時：2025 年 11 月 9 日（日）13：30～16：30
- ③ 内容：講演、子供達の研究発表

【講演 1】「標本にきく～野外調査の裏にも標本がある」

伊澤雅子（前北九州市立自然史・歴史博物館 館長）

【講演 2】「琉球列島に残る人類の足跡—3 万年前の旧石器人が目指した島々」

土肥直美（元琉球大学医学部医学研究科解剖学准教授）

令和 7 年度国立自然史博物館誘致企画展

1. 常設展示展

- ① 会場：沖縄美ら海水族館イベントホール（開催中～2026 年 3 月 20 日）
- ② 内容：パネル展示、オブジェ、動画

2. 本島北部展（終了）

- ① 会場：「道の駅」ゆいゆい国頭屋根付き広場（2025 年 8 月 23 日～8 月 24 日）
- ② 内容：パネル展示、オブジェ、恐竜頭骨

3. 本島中部展（終了）

- ① 会場：沖縄コンベンションセンター展示棟（2025 年 8 月 9 日～8 月 10 日）
- ② 内容：パネル展示、オブジェ、恐竜頭骨
「第 15 回夏休み子供自由研究 in 沖縄コンベンションセンター2025」内のブースにて開催

4. 本島南部展

- ① 会場：糸満市立中央図書館 1 階フロア（2025 年 12 月 9 日～12 月 21 日）
- ② 内容：パネル展示、オブジェ

5. 八重山展（終了）

- ① 会場：石垣市役所 1 階市民広場（2025 年 11 月 8 日～11 月 9 日）
- ② 内容：パネル展示、恐竜頭骨

6. 宮古展（終了）

- ① 会場：JTA ドーム宮古島（2025 年 11 月 2 日～11 月 3 日）
- ② 内容：パネル展示、恐竜頭骨



八重山シンポジウムでの
子供達の研究発表表彰式

沖縄生物学会第 62 回大会・総会報告

沖縄生物学会第 62 回大会が、2025 年 5 月 17 日（土）に沖縄大学本館にて開催されました。一般講演 11 件、一般のポスター講演 17 件、高校生によるポスター発表 1 件が行われ、大会参加者は一般 97 名、学生 43 名、公開シンポジウム 58 名の計 198 名でした。また、15:40 からは「沖縄島の中南部の自然の過去・現在・これから」と題した公開シンポジウムがあり、田村常雄氏（沖縄鍾乳洞協会）による沖縄島中南部の洞くつ性小型コウモリの現状、佐々木健志氏（琉球大・風樹館）による沖縄中南部の節足動物の特徴、久保弘文氏（琉球大・風樹館）による存亡の危機に立つ“世界でこの島だけのかたつむりたち”、傳田哲郎による（琉球大・理学部）湧水に育まれる溪流型アカボシツツナミソウ — やんばるとは異なる進化の舞台、城間大輝氏・富永篤氏（琉球大）による沖縄南部に残存する両生類・爬虫類の地域個体群について、澤志泰正氏（環境省沖縄奄美自然環境事務所）による地域の生物多様性増進についての話題提供がなされました。その後、「沖縄島中南部の自然環境や野生動植物の保全のために我々に何ができるのか？」とのテーマを掲げ、総合討論がなされました。シンポジウム終了後には近隣にて情報交換会が持たれました。

総会では、まず報告事項として、山川代表幹事から 2024 年度の事業報告と、第 63 回の年次大会の開催が沖縄キリスト教学院大学で実施予定であることが報告されました。続いて江藤編集幹事より会誌 63 号の発刊について報告がありました。その後、佐々木選考委員長より、2024 事業年度は池原賞の対象者がなかったことが報告され、積極的に応募・推薦をしてほしい旨の呼びかけがありました。竹村幹事より、令和 6 年度に県内で行われた国立自然史博物館関連のイベントの報告がありました。また傳田会長より、学会会計繰越金の有効活用についてお話があり、過去の学会誌を電子アーカイブ化して閲覧する案を第一案として、その他についても検討していることが報告されました。平良庶務幹事より、学会メールアドレスの変更（okibio-info@okibio.jp）について報告されました。

続いて、審議事項として、山川代表幹事から 2024 年度の事業報告と 2025 年度の事業計画の説明があり、承認されました。続いて、小林会計幹事から 2024 年度決算報告、今井監査員から同監査報告、さらに小林会計幹事から 2025 年度予算案の提示があり承認されました。また、役員の一部変更に関して評議員会からの案が示され、承認されました（役員は本通信 7 ページに掲載）。最後に佐々木健志副会長から閉会の辞があり、総会は終了しました。



公開シンポジウムの様子



ポスター会場の様子

第17回 沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

第17回沖縄生物学会池原貞雄記念賞の候補者を募集します。規約にあるとおり、本賞は沖縄の生物の研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、および将来の成果が期待される若手会員に対して贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。参考までに、池原貞雄記念賞表彰規約は学会HPを確認ください。

受賞者の決定は選考委員会で行われ、沖縄生物学会大会開催時に授賞式を行います。

池原貞雄記念賞候補者推薦要領

1 推薦方法

別紙様式の表彰候補者推薦書（様式1）、推薦理由書（様式2）、履歴書（様式3、個人推薦の場合のみ）、団体の概要（様式4、団体推薦の場合のみ）各2部を添えて、沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局あて郵送にて提出する。もしくは、下記のメールアドレスに各様式を添付ファイルとして送信する（件名には必ず「池原貞雄記念賞推薦」と記入する）。

2 推薦人員

(1)各会員が推薦できる人数は、一部門の1名または1団体とする。

3 候補者の例示

- (1) 表彰規約3の2の(1)は若手研究者を優先とする。
- (2) 表彰規約3の2の(1)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。
ア) 沖縄の生物に関する論文、講演などの実績があるもの。
- (3) 表彰規約3の2の(2)でいう長年とはおおむね10年以上とする。
- (4) 表彰規約3の2の(2)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。
ア) 沖縄の生物・環境に関する教育・普及啓発活動に実績があるもの。
- (5) 表彰規約3の2の(3)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。
ア) 沖縄の自然環境の保全に関する活動実績(書籍、事業、イベントなど)があるもの。

4 候補の対象としない者

(1) 過去に当記念賞を受賞した者。

5 応募方法

- (1) 沖縄生物学会通信および学会ウェブサイトにて公募する。様式はウェブサイトからダウンロードできる。
- (2) 表彰規約3の2の(1)でいう研究部門については、代表的な論文5編以内（コピー可）を添付すること。
- (3) 応募締切は2026年1月末日（当日消印有効）とする。
- (4) 応募書類の送付先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内
沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛、E-mail: okibio-info@okibio.jp

6 留意事項

受賞者には自らの研究または活動の概要を受賞講演として沖縄生物学会大会で紹介していただきます。

問い合わせ：

本件につきましては、学会事務局へメール（okibio-info@okibio.jp）にてお願いします。

令和7年度 沖縄生物学会 第1回評議員会報告

沖縄生物学会評議員会が2025年12月15日（月）の19:00から開催されました。琉球大学理学部528室を会場としつつ、メンバーの一部がオンラインで参加するハイブリッド方式の評議員会となり、13名出席（幹事含む）、4名委任、5名欠席でした。

【審議事項】

1. 沖縄生物学会第63回大会の開催について

2026年度の年次大会である第63回大会の運営体制について議論がなされました。第63回大会は2026年5月30日に沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学で行うこと、大会参加費、懇親会参加費、申込期日等について承認されました。また当該の大会では、小中高生生の大会参加者（ポスター発表および発表無し）及び引率者の大会参加費が免除になること、小中高生が口頭発表を行う場合は、一般参加者と同様とすることが議論の上決定されました。第63回大会については本通信1-2ページをご覧ください。

2. 再来年2027年の年次大会（第64回大会）のホストについて

2027年の大会は、琉球大学で実施することが承認されました。

3. 第16回池原貞雄記念賞の募集について

第16回池原貞雄記念賞の募集について、通信と学会ホームページで情報発信し、2026年1月末日を締め切りとするという提案がなされ、承認されました。また、前年度は池原貞雄記念賞が被推薦者なしで終わったため、評議員やその周囲で積極的に推薦を働きかけていくことが確認されました。関連記事は5ページをご覧ください。

4. 通信117号（本通信）の内容について

通信117号の内容について審議し、その項目立てと主な内容が承認されました。

【報告事項】

1. 国立自然史博物館設立への動き（進捗報告）

伊澤評議員より、2025年11月9日、令和7年度国立自然史博物館誘致八重山シンポジウムが石垣市で開催され、小中高生およびNPO関連の市民の方々の参加が多く大変活発であったことが報告されました。また、当山評議員や戸田幹事より、12月11日におきみゆーで開催された「国立沖縄自然史博物館誘致県民会議」の結成式と記念シンポジウムへ参加したことが報告されました。今後さらに産官学が連携して県民全体で誘致活動を盛り上げるためのシンポジウムで、多くの参加者でホールがほぼ埋まり盛会であったとのことでした。ほかにも各地で博物館誘致のための企画展が開催されており、美ら海水族館では2026年3月まで開催されること、北部、中部、南部、八重山、宮古での展示は無事終了したことが報告されました。関連記事は本通信3ページをご覧ください。

2. 会誌の編集状況

藤田編集幹事より、次号の会誌について、受理済みが計5編（原著論文3編、資料2編）、査読・改訂中が計5編（資料5編）あることが報告されました。査読者の依頼が難航することが多いため、今後投稿者には、査読者候補の推薦を求める方針の旨の報告がありました。

3. 学会会計繰越金を検討するWG

傳田会長より、過去の学会誌を電子アーカイブ化して閲覧可能にする案を第一案として琉大図書館と調整していること、他にも県内学校に保管されている生物標本の状況把握について予算を使用することを検討していることが報告されました。

沖縄生物学会 役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員は下記のとおりです(2025年12月時点)。任期は2年間で、2026年5月の総会までです。

会長	傳田 哲郎(琉球大学)	
副会長	佐々木 健志(琉球大学)	上間 勉(沖縄生物教育研究会)
監査員	菊川 章(沖縄県立博物館・美術館)	比嘉 俊(琉球大学)
	今井 秀行(琉球大学)	
評議員		
大学関係	坂下 光洋(名桜大学)	照屋 建太(沖縄キリスト教短期大学)
研究機関	宮本 真琴((一財)沖縄県環境科学センター)	
	青柳 克((株)イーエーシー)	
行政機関	山本 以智人(環境省)	
高校関係	島袋 陽(沖縄県立総合教育センター)	知念 美香(小禄高校)
	新城 憲一(未来工科高校)	
中学校関係		
その他	当山 昌直	伊澤 雅子

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 佐々木 健志(琉球大学)

自然史博物館設立要請委員会委員長 竹村 明洋(琉球大学)

庶務幹事	山川(矢敷) 彩子(代表幹事: 沖縄国際大学)	
	戸田 守(琉球大学)	竹村 明洋(琉球大学)
	城ヶ原 貴通(沖縄大学)	平良 渉(琉球大学)
	齊藤 由紀子(琉球大学)	
会計幹事	小林 峻(琉球大学)	
編集幹事	藤田 喜久(沖縄県立芸術大学)	江藤 毅(琉球大学)
編集委員	佐々木 健志(琉球大学)	富永 篤(琉球大学)
	前田 健(沖縄科学技術大学院大学)	渡邊 謙太(沖縄工専)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールはokibio-info@okibio.jp です。

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会 沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石正明
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

沖縄生物学会誌では、随時原稿を募集しています。投稿を希望される方は、投稿規定に沿って原稿を準備いただき(原則として電子ファイルでの投稿のみ受け付けます)、投稿専用アドレス(journal@okibio.jp)までお送りください。

沖縄生物学会誌は、毎年1号、毎年3月末に発行される予定となっています。したがって、毎年12月末までに受理された原稿について、翌年3月に発行される号に掲載することになっております(受理原稿の編集・校正・印刷業者との調整など、発刊に向けた諸作業の時間が必要なためです)。沖縄生物学会誌に投稿された論文原稿の審査(査読)は、通常2ヶ月～3ヶ月程度要します(査読結果次第では半年～1年以上かかる場合もあります)。これらの発行スケジュールをご理解の上、十分な時間的余裕を持って、ご投稿をお願い致します。皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

なお、投稿に関するお問い合わせについては、編集幹事の藤田喜久(journal@okibio.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先：journal@okibio.jp (沖縄生物学会誌 編集幹事)

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
生物系事務室 TEL：(098)895-8577
FAX：(098)895-8576, okibio-info@okibio.jp
振替口座(郵便)：02030-8-30433 沖縄生物学会